

2025年3月28日（金）

報道関係各位  
プレスリリース

大阪市高速電気軌道株式会社  
株式会社 SkyDrive

**Osaka Metro が整備した空飛ぶクルマ専用  
「大阪港パーティポート」が完成**  
**Osaka Metro と大阪市が竣工セレモニーを開催**  
～2025年大阪・関西万博にて SkyDrive のデモフライトの離着陸場に～

大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 河井英明、以下「Osaka Metro」）は、2025年大阪・関西万博で株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）が開発した「空飛ぶクルマ」（※1）のデモフライト時に使用する夢洲の万博会場外の離着陸場「大阪港パーティポート」が、2025年3月28日（金）に完成し、大阪市と共催で竣工セレモニーを開催したことをお知らせします。



■完成までの経緯

Osaka Metro は、地下鉄およびニュートラムを9路線運営しており、大阪を各段に便利で快適なまちにしていくことを目的に、都市型 MaaS 構想「e METRO」を推進しています。「e METRO」では、お客さまの多種多様なニーズに対応するため、さまざまなモビリ

ティを一元的に提供することを目指しており、空飛ぶクルマを新たな空の移動手段と位置付けています。SkyDrive の空飛ぶクルマは、短距離～中距離をスピーディに移動できる新たな空の交通手段であり、これまでの陸の移動と組み合わせることで新たなニーズに対応できる点に加え、レジューン性が高い点において、既存のモビリティ（地下鉄、バス、オンデマンドバスなど）と異なる特性を持っており、お客さまに提供するモビリティのベストミックス実現のために有望な交通手段であると考え、2024年8月に両社で業務提携契約を締結しました。（※2）

2025年大阪・関西万博を見据え、2024年1月に大阪市が実施した「『空飛ぶクルマ』会場外ポート事業者」の公募にOsaka Metroが選定され、大阪市港区（中央突堤）でパーティポート（空飛ぶクルマの離着陸場）の整備を進めてきました。（※3）2025年大阪・関西万博では、SkyDrive の空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」が万博会場内ポート「EXPO Vertiport」と「大阪港パーティポート」の二地点間運航等を予定しています。（※4）

「大阪港パーティポート」の名称は、最寄り駅となるOsaka Metro 中央線「大阪港」の駅名と、空飛ぶクルマの離着陸場の呼称（パーティポート）を掛け合わせたものです。2025年大阪・関西万博をきっかけに、パーティポートという名称が広がることに期待を込めています。

## ■施設概要

パーティポートの施設には、空飛ぶクルマの整備や補給、待機などを行う格納庫、空飛ぶクルマの離着陸面、顔認証チェックインからモックアップへの搭乗までを体験できる旅客施設がある他、オンデマンドバスやシェアサイクルなどのモビリティとの結節点となる機能も備えています。

名称	大阪港パーティポート（英語表記：OSAKAKO Vertiport）
所在	大阪府大阪市港区海岸通1丁目105番5地内及び地先
面積	約12,000㎡
土地所有者	大阪市
整備管理者	大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）
主な保有設備	パーティポート（空飛ぶクルマ離着陸場）、旅客施設、格納庫、充電施設（今後予定）、消火設備、風向指示器、モビリティポート（オンデマンドバス・シェアサイクル）、駐車場



大阪港パーティポート全体



パーティポート（空飛ぶクルマ離着陸場）



格納庫



旅客施設



<https://youtu.be/bJUprHMIRNc>

顔認証チェックインから搭乗までのシームレスな移動のイメージ動画

### ■3月28日に竣工セレモニーを開催

「大阪港パーティポート」の完成を記念し、2025年3月28日（金）に竣工セレモニーを開催しました。登壇した皆さまからは、パーティポートへの期待等が語られました。また、2025年大阪・関西万博でデモフライトを行う空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive式SD-05型）」のフルスケールモックアップを初公開し、報道陣の皆さまに搭乗体験いただきました。



Osaka Metro 代表取締役社長 河井英明



SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤知浩

### ■「大阪港パーティポート」の活用方法

2025年大阪・関西万博で SkyDrive の空飛ぶクルマがデモフライト時に使用する他、一般のお客さまにもご来場いただけるよう2025年4月中旬以降からイベントを実施します。空飛ぶクルマ開発の歴史パネルの展示等で空飛ぶクルマの特徴を紹介する他、顔認証チェックイン、待合室待機、空飛ぶクルマのモックアップへの搭乗といった一連の流れをシームレスに体験できるイベントです。2025年4月中旬にイベント公式ホームページからご予約が可能となります。さらには、パーティポート近隣地域で開催されるイベントに合わせて、気軽にお楽しみいただける空飛ぶクルマに関するイベントの実施も予定しています。イベント公式ホームページ <https://advanced-air-mobility.osakametro.co.jp/>

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和6年4月付） <https://www.mlit.go.jp/koku/content/001739488.pdf>

※2 Osaka Metro と SkyDrive の業務提携に関するプレスリリース：

[https://subway.osakametro.co.jp/news/news\\_release/20240826\\_skydrive\\_teikei.php](https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20240826_skydrive_teikei.php)

※3 Osaka Metro が大阪市が公募した「『空飛ぶクルマ』会場外ポート事業者」に選ばれたことに関するお知らせ：

[https://subway.osakametro.co.jp/news/news/other/20240202\\_soratobukuruma\\_port\\_jigyousya.php](https://subway.osakametro.co.jp/news/news/other/20240202_soratobukuruma_port_jigyousya.php)

※4 大阪・関西万博における SkyDrive の空飛ぶクルマの運航イメージ

<https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/20240926-1-siryou1.pdf>

《大阪市高速電気軌道株式会社 概要》

設立	2018年4月1日
代表者	代表取締役社長 河井英明
URL	<a href="https://www.osakametro.co.jp/">https://www.osakametro.co.jp/</a>
所在地	大阪府大阪市西区九条南 1-12-62
事業内容	2018年4月に株式会社として新たなスタートを切り、大阪都心部を網の目状に走る9路線141kmの地下鉄ネットワークを運営し、社会生活インフラとしての重要な役割を果たしています。安全・安心・快適にご利用いただける「交通インフラ」として、また、皆さまの生活を支える「社会生活インフラ」としての基本的な使命に加えて、多様な人々が出会い、新たな価値を創造し合う「活カインフラ」としての役割をも果たし、国際都市「大阪」のさらなる発展に貢献したいという想いを企業理念に込め、「交通を核にした生活まちづくり企業」へ変革すべく、事業活動を進めています。

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	<a href="https://skydrive2020.com/">https://skydrive2020.com/</a>
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F 東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F
子会社	株式会社 Sky Works：静岡県磐田市 SkyDrive America, Inc.：500 Carteret Street, Suite D, Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.

事業内容	<p>「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立し、豊田市を主拠点到に「空飛ぶクルマ」の開発、「ドローンサービス」の提供をしています。</p> <p>「空飛ぶクルマ」の開発においては、2020年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。</p> <p>「空飛ぶクルマ」は、現在3人乗りの機体を開発中、製造パートナーであるスズキ株式会社と共に、2024年3月よりスズキグループの工場にて製造を開始しました。早ければ2026年に型式証明の取得を目指しております。</p>
------	--

### 本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫

広報担当

Email: [info@skydrive.co.jp](mailto:info@skydrive.co.jp)

<https://skydrive2020.com/contact>